

東京のまちづくり

東京都建設局

特集1 都立公園・庭園 春の花を見に行こう!

特集2 木造住宅密集地域を改善する、命を守るまち
～特定整備路線の整備推進～



野川公園
大あずまやと桜



猿江恩賜公園
チューリップ



完成イメージ



現状

特定整備路線
補助第26号線(三宿)

都立公園・庭園

春の花を見に行こう!

上野恩賜公園

サクラ 見ごろ 3月下旬頃



現在、園内だけで約800本、動物園、寛永寺清水堂、東照宮など含めると全部で約1,200本の桜が植えられています。さくら通りの小松宮彰親王像付近にコマツオトメという品種の原木があります。

☎ 03-3828-5644
都営地下鉄大江戸線「上野御徒町」下車徒歩5分、JR・東京メトロ「上野」下車徒歩2分、京成線「京成上野」下車徒歩1分

井の頭恩賜公園

サクラ 見ごろ 3月下旬頃



井の頭池の周囲に約250本の桜があり、池の水に映える満開の桜が見事です。また、花が散った後も、花びらで池が一面桜色に染まる様子がご覧いただけます。池畔の散策や、ボートからの眺望がお勧めです。

☎ 0422-47-6900
JR・京王井の頭線「吉祥寺」下車徒歩5分、京王井の頭線「井の頭公園」下車徒歩1分

戸山公園

サクラ 見ごろ 3月下旬頃



園内には、ソメイヨシノやヤマザクラなど約330本の桜があります。箱根山山頂(44.6m)から見るヤマザクラは、360度パノラマでご覧いただけます。

☎ 03-3200-1702
都営地下鉄大江戸線「若松河田」下車徒歩15分、東京メトロ副都心線「西早稲田」下車徒歩8分

六義園

サクラ 見ごろ 3月中旬～4月上旬頃



園内には約40本のサクラがあります。当園のシンボルともいえるしだれ桜は、春の陽光に照り映える姿と、夜間に浮かび上がる姿、どちらも見ごたえ十分です。

☎ 03-3941-2222
都営地下鉄三田線「千石」下車徒歩10分、JR山手線・東京メトロ南北線「駒込」下車徒歩7分

神代植物公園

ツバキ サクラ 見ごろ 3月～4月上旬頃



つばき・さざんか園では、江戸ツバキをはじめ、約250品種の様々な系統のツバキが楽しめます。また、約60種のサクラもご覧いただけます。

☎ 042-483-2300
京王線「調布」から小田急バス吉祥寺または三鷹行き「神代植物公園前」下車、JR中央線「三鷹」・「吉祥寺」から小田急バス調布駅北口または深大寺行き「神代植物公園前」下車
※裏面のイベント案内もご覧ください。

殿ヶ谷戸庭園

カタクリ 見ごろ 3月中旬～下旬頃



都内で貴重となったカタクリ200～300株を間近でご覧いただけます。

☎ 042-324-7991
JR中央線「国分寺」南口徒歩2分、西武国分寺線・西武多摩湖線「国分寺」南口徒歩2分
※裏面のイベント案内もご覧ください。

武蔵野公園

サクラ 見ごろ 3月中旬～4月下旬頃



40種近いサクラがあり、長期にわたって様々なサクラを楽しむことができるサトザクラの名所です。

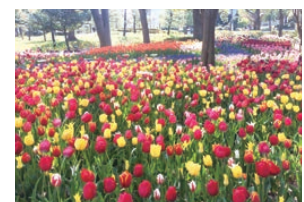
☎ 042-361-6861
JR武蔵小金井、JR三鷹、京王線調布からバス「武蔵野公園」下車すぐ、JR武蔵小金井、京王多摩川線からバス「多磨町」下車3分、西武多摩川線新小金井徒歩15分

イベント

平成30年4月7日(土) ※雨天予備日4月8日(日)
園内で地元小金井市のお店・アーティストによる「はけのおいしい朝市」を開催。これに合わせてレンジャーによる「さくらガイドウォーク」を行います。

猿江恩賜公園

チューリップ ムスカリ 見ごろ 4月上旬頃



色とりどりの1万球のチューリップと紫色の1万球のムスカリが猿江恩賜公園の林床を彩ります。また、中央広場のソメイヨシノが4月上旬に満開を迎えます。

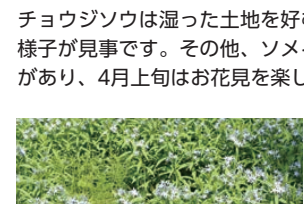
☎ 03-3631-9732
都営新宿線・東京メトロ半蔵門線「住吉」下車A3出口徒歩2分、JR総武線「錦糸町」南口下車徒歩15分

イベント

チューリップフェスタ 4月13日(金)～4月15日(日)
期間中の夕方からチューリップキャンドルナイトとミニコンサートを実施します。

野川公園

サクラ チョウジソウ 見ごろ 4月下旬頃



チョウジソウは濡った土地を好む野草で、池のほとりを青く染めて群生する様子が見事です。その他、ソメイヨシノ、ヤマザクラなど約500本のサクラがあり、4月上旬はお花見を楽しむことができます。

☎ 0422-31-6457
JR武蔵小金井、JR三鷹、京王線調布からバス「野川公園一之橋」、「二枚橋」下車すぐ、JR三鷹からバス「野川公園入口」下車3分、西武多摩川線新小金井、多磨から徒歩15分

春の

東京の日本庭園の魅力に触れよう

東京いい庭 キャンペーン



都立、国公立、民間など都内の日本庭園において、「春の東京いい庭キャンペーン」と題し、桜花期に各庭園の魅力発信するさまざまなイベントを開催します。普段、庭園に馴染みのない方から愛好家の方まで、気軽に庭園に親しむことができます。東京の春を彩る、魅力ある庭園にぜひお越しください。

●開催期間 3月17日(土)～4月15日(日)
●会場 都内29庭園

浜離宮恩賜庭園、旧芝離宮恩賜庭園、小石川後楽園、六義園、旧岩崎邸庭園、向島百花園、清澄庭園、旧古河庭園、殿ヶ谷戸庭園、東京都庭園美術館、皇居東御苑、新宿御苑、東京国立博物館、国営昭和記念公園日本庭園、肥後細川庭園、旧朝倉文夫氏庭園、旧安田庭園、池田山公園、目白庭園、山本亭、薬師池公園、八芳園、根津美術館、毛利庭園、ホテル椿山荘東京、旧安田楠雄邸庭園、小石川植物園、遼溪園、京王百草園

●内容 庭園ガイド
庭園ライトアップ
特別展示 など
※庭園ごとに実施内容が異なります。
詳細はHPをご覧ください。



庭園ガイド



コンサート



ライトアップ

問い合わせ先

公園緑地部公園課
TEL:03-5320-5168

東京都建設局のホームページ(<http://www.kensetsu.metro.tokyo.jp/>)のお知らせ欄「春の東京いい庭キャンペーンについて」もあわせてご覧ください。



ニシゴリラのリキ誕生と姉モモカの成長

恩賜上野動物園 東園飼育展示係 田村由美

上野動物園では野生と同様にシルバーバックのオスを中心とし、複数の大人のメスとその子ども達からなる群れで飼育を行っています。2017年10月9日、モモコがオスの「リキ」を出産しました。今回の出産で5産目のモモコは、手馴れた様子でリキの面倒を見ています。

リキはすくすくと成長し、目が見えるようになり周囲のものに興味を持つようになりました。また、歯が生えはじめてからは、近くにある枝葉や金網、モモコや自分の指をよくしゃぶったり噛んだりしています。

今回の出産ではじめて自分よりも年下の子どもに接する姉のモモカ(4歳)は、はじめは触り方が荒く、モモコによく「ダメ」というように手を払われていました。時には執拗に触りすぎて、モモコからパンチをくらったことも…。優しくそっと触ることを覚えてからは、モモコもモモカがリキに触ることを許しました。

モモカの次のステップは小さな子どもを抱くこと。モモコにリキを抱かせてもらっても、すぐに「もういい」とでも言うかのようにリキをモモコへ返してしまったり、運び方が危なっかしかったり、まだまだ練習が必要そうです。これから少しずつモモカも抱き方を覚えていくことでしょう。

群れの中で子どもが育つということは、兄妹や他の群れのメンバーにとってもよい刺激や経験となっています。子どもの成長や育児の様子、そして群れのメンバーがどう関わっていくのかを是非観察してください。なお、リキの健康管理のため、急遽展示を見合わせる場合や展示終了時間を早めることがありますのでご了承ください。

動物園の“かお” 井の頭自然文化園 クロツラヘラサギ

2017年11月に多摩動物公園からやって来たクロツラヘラサギです。井の頭自然文化園では初の展示。ぜひ会いに来てください。

